

## 第2章

# 在宅介護実態調査結果

(主な家族介護者)



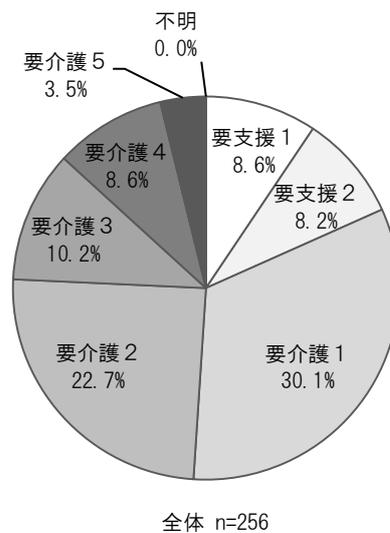
## 第2章 在宅介護実態調査結果

### 1 ご本人（要介護者）の状況について

#### (1) 要介護者の介護度

○本調査での要介護者の介護度は、「要介護1」（30.1％）が最も高く、次いで「要介護2」（22.7％）、「要介護3」（10.2％）となっています。

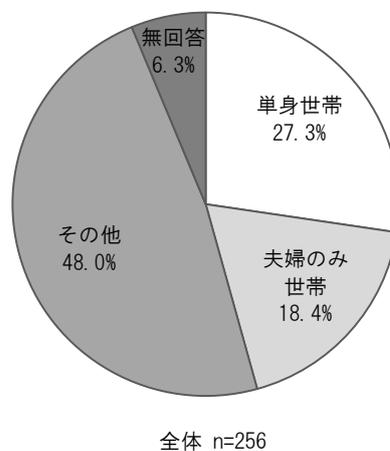
要介護者の介護度別構成比



#### (2) 要介護者の世帯状況

○要介護者の世帯状況は、「単身世帯」が27.3％、「夫婦のみ世帯」が18.4％となっています。

問1 世帯類型

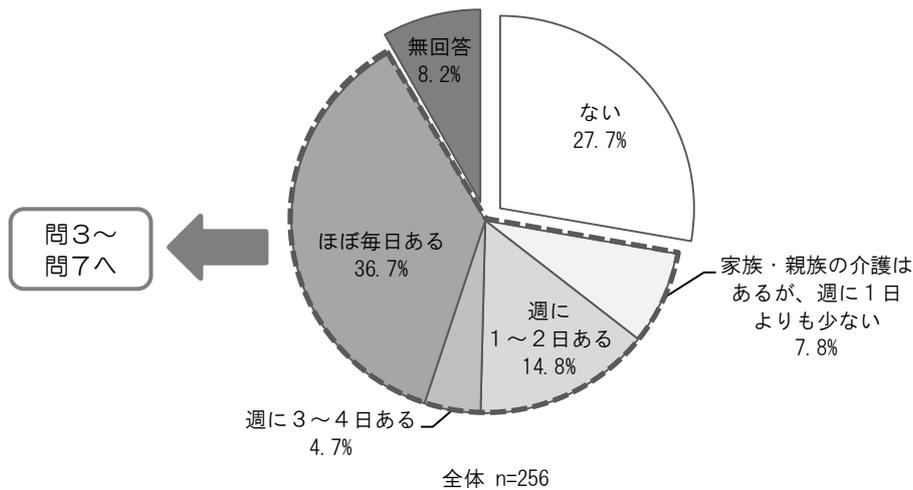


### (3) 家族・親族による介護の頻度

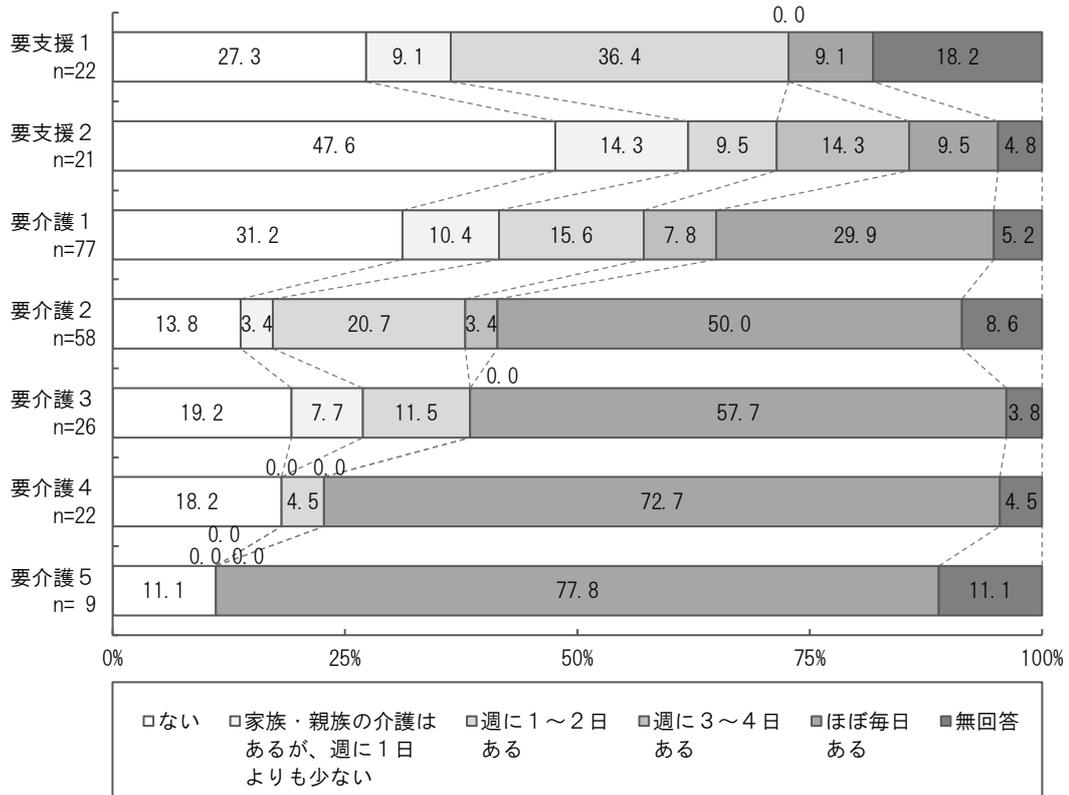
○家族・親族による介護の頻度をみると、「ほぼ毎日ある」(36.7%)が最も高く、「週に1～2日ある」「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」「週に3～4日ある」と合わせると64.0%の方が家族・親族による介護を受けている状況です。

○また、介護度別にみると、要介護2～5では「ほぼ毎日ある」(77.8～50.0%)、要支援1・2と要介護1では「ない」(47.6～27.3%)が最も高くなっています。

問2 家族・親族による介護の頻度

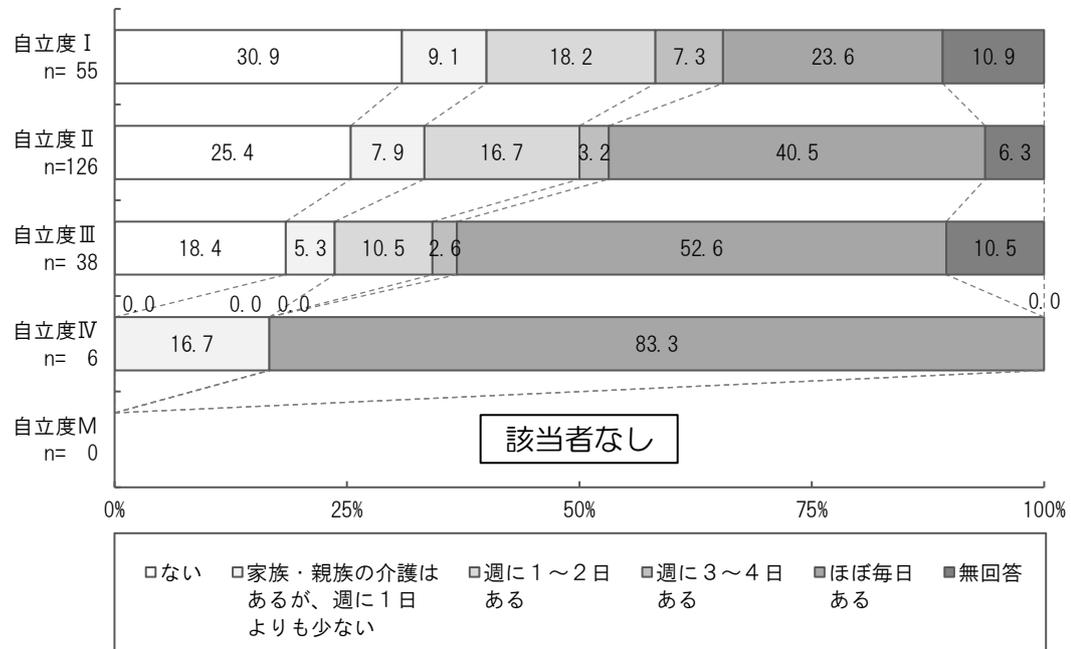


「介護度」×「問2 家族・親族による介護の頻度」



○認知症高齢者日常生活自立度別にみると、「ほぼ毎日ある」が自立度Ⅰでは23.6%、自立度Ⅱでは40.5%、自立度Ⅲでは52.6%となっています。  
 (自立度Ⅳは少数のためコメントを省略)

「認知症高齢者日常生活自立度」×「問2 家族・親族による介護の頻度」



## 2 主な介護者等の状況（属性等）について

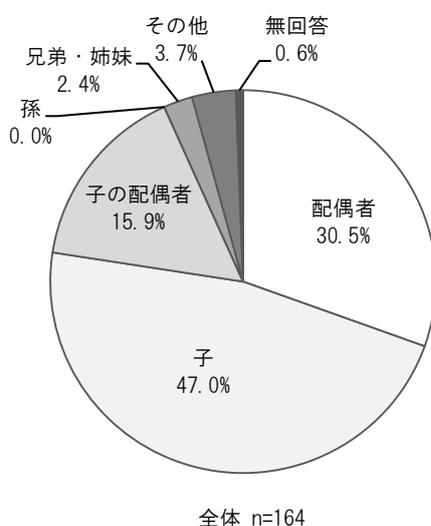
### (1) 主な介護者の状況

○要介護者からみた主な介護者の続柄は、「子」(47.0%) が最も高く、次いで「配偶者」(30.5%)、「子の配偶者」(15.9%) となっています。

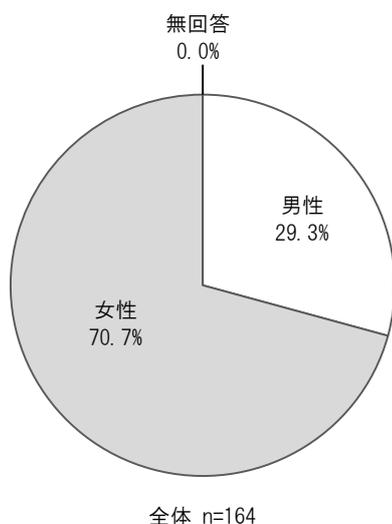
○主な介護者の性別は、「男性」が29.3%、「女性」が70.7%となっています。

○主な介護者の年齢は、「60～69歳」(32.3%) が最も高く、次いで「50～59歳」(25.0%)、「80歳以上」(17.7%) となっています。また、60歳以上の方は6割以上を占めています。

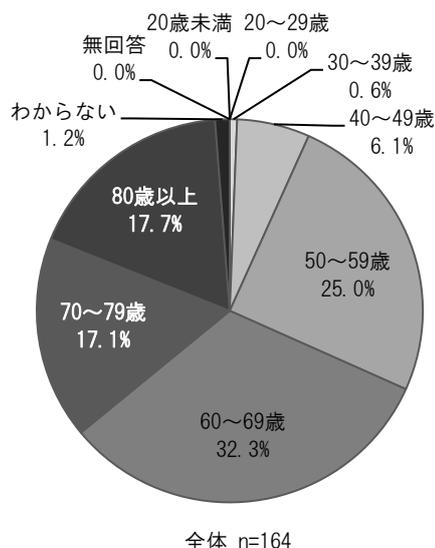
問3 主な介護者の続柄



問4 主な介護者の性別



問5 主な介護者の年齢

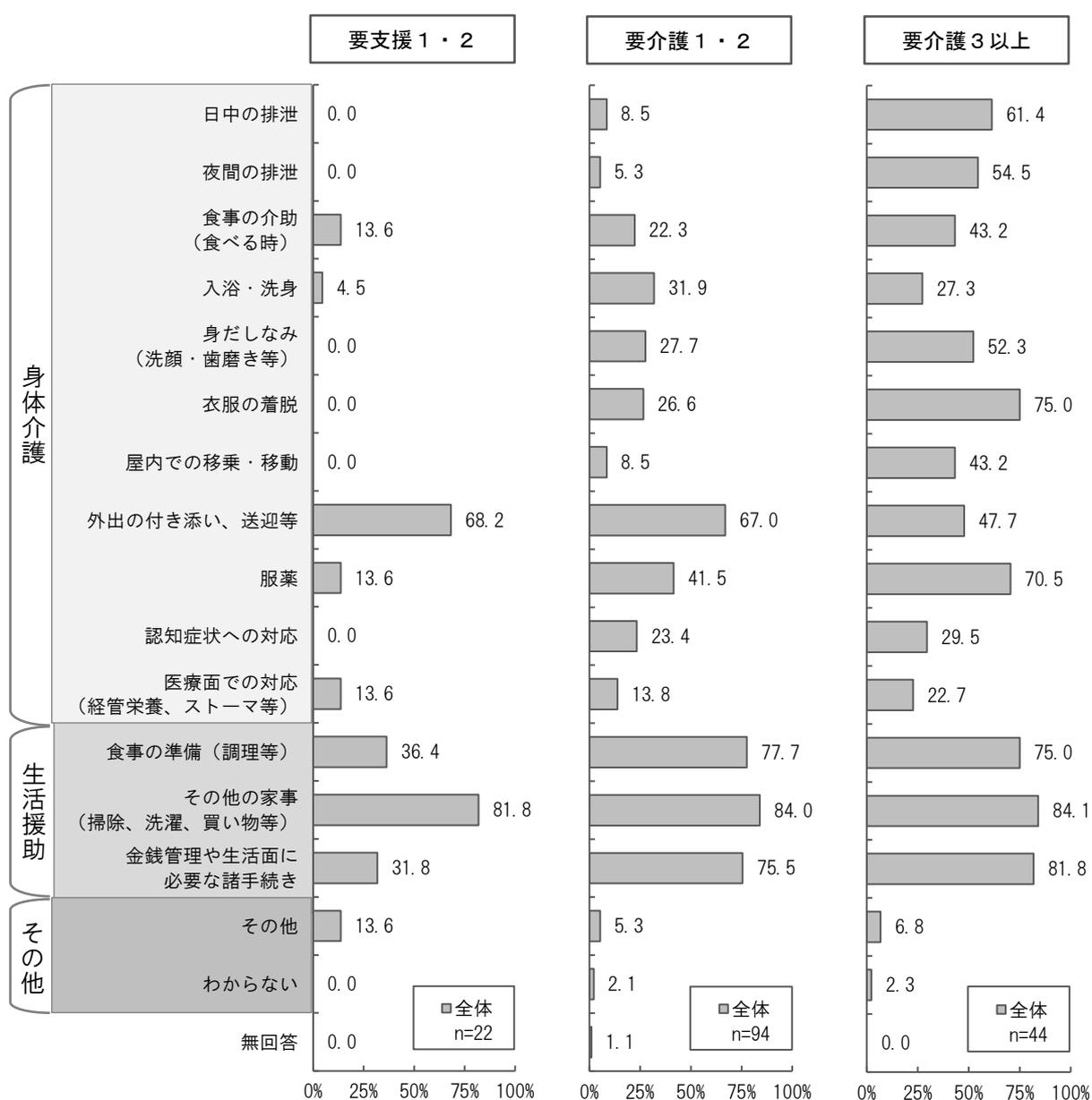


## (2) 主な介護者の介護実態

○主な介護者が行っている身体介護をみると、要支援1・2では「外出の付き添い、送迎等」(68.2%)が約7割と高いものの、他の項目は約1割となっています。要介護1・2では「外出の付き添い、送迎等」(67.0%)が最も高く、次いで「服薬」(41.5%)、「入浴・洗身」(31.9%)で3割を超えています。要介護3以上では「衣服の着脱」(75.0%)、「服薬」(70.5%)で7割を超え、他の項目においても2割を上回っています。

○生活援助では、要支援1・2は全ての項目で3割を超え、要介護1・2と要介護3以上では7割を超え高くなっています。

問6 主な介護者の方が行っている介護

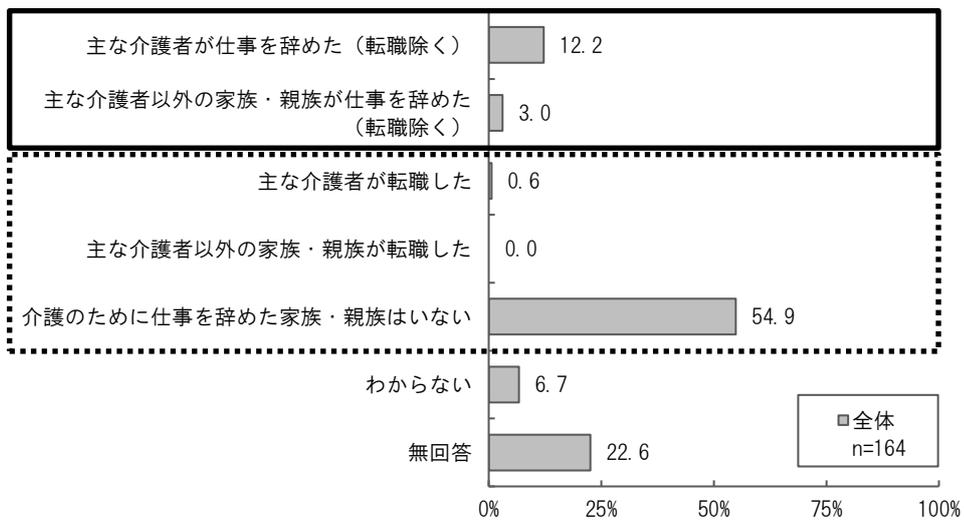


### (3) 家族介護のために離職した状況

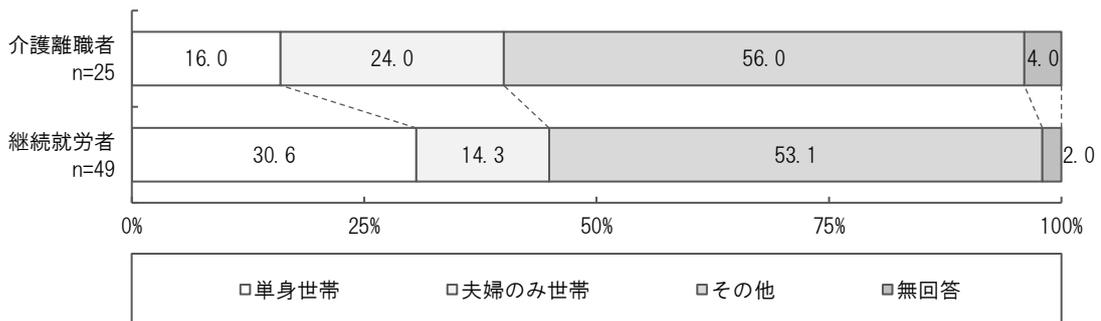
○介護を理由に離職した方（介護離職者）は、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」（12.2%）と「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）」（3.0%）を合わせた15.2%となっています。また、「主な介護者が転職した」と回答したのは0.6%となっています。

○世帯類型をみると、介護離職者・継続就労者ともに「その他」（56.0%・53.1%）が最も高く、次いで介護離職者では「夫婦のみ世帯」（24.0%）、継続就労者では「単身世帯」（30.6%）となっています。

問7 家族・親族の介護を理由とした離職・転職の状況（過去1年間）



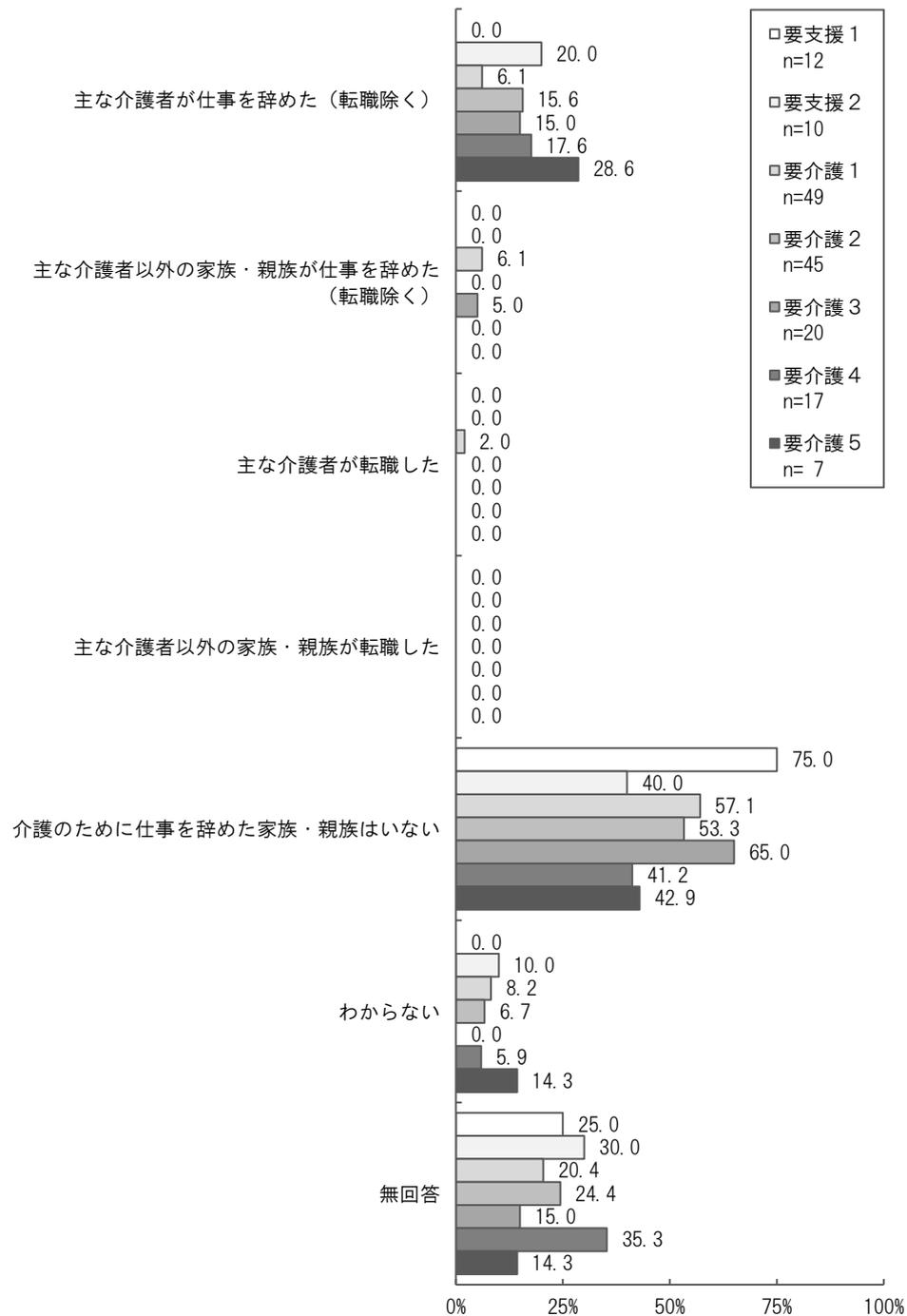
「介護離職者・継続就労者別」×「問1 世帯類型」



※継続就労者：①問7で「転職した」と回答（「3」「4」を選択）した方、②「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、問14で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方の計です。

○介護を理由とした家族・親族の離職・転職の状況を要介護者の介護度別にみると、全ての介護度で「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」（75.0～40.0%）が最も高くなっています。また、要介護5では「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が28.6%と他の介護度より高くなっています。

「介護度」×「問7 家族・親族の介護を理由とした離職・転職の状況」



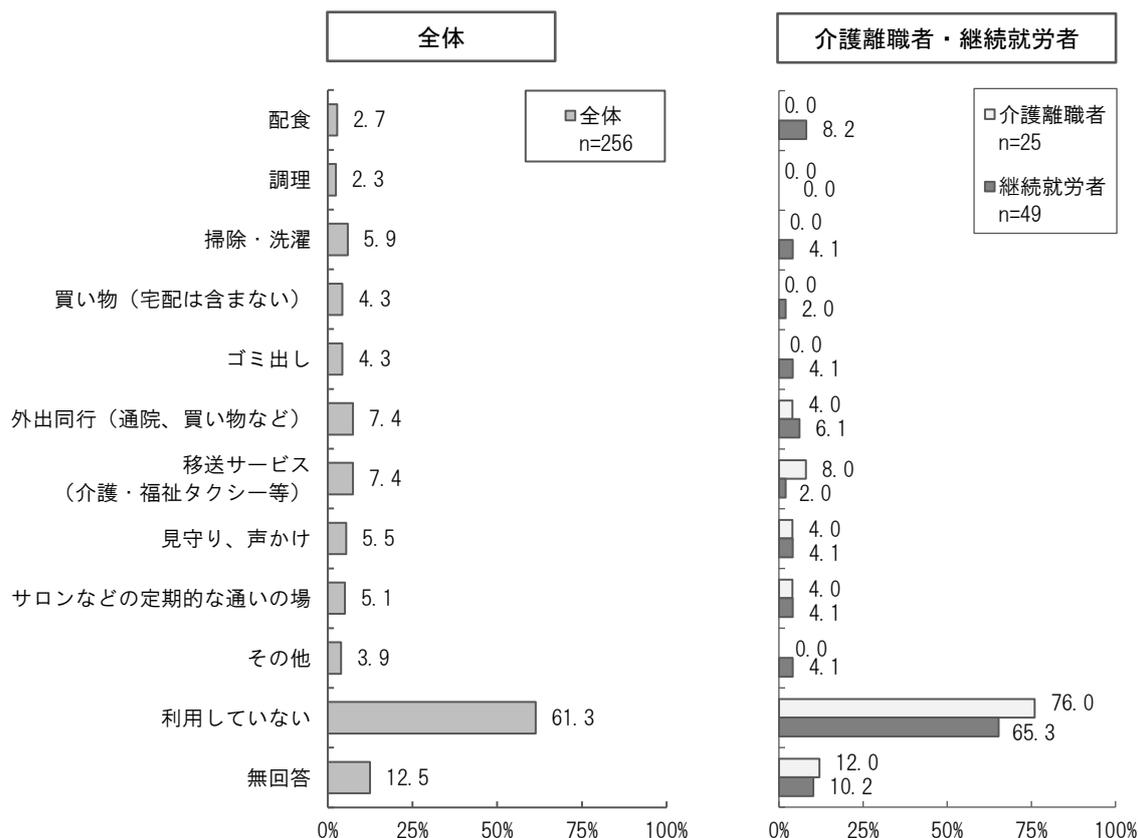
### 3 支援・サービス・訪問診療の利用状況やニーズについて

#### (1) 在宅生活を続けていくための必要な支援・サービス

○介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況をみると、全体では全てのサービスが1割未満で、「利用していない」(61.3%)は約6割となっています。

○介護離職者・継続就労者別にみても全体と同様の傾向にあり、「利用していない」(76.0%・65.3%)はともに6割を超えています。

問8 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況

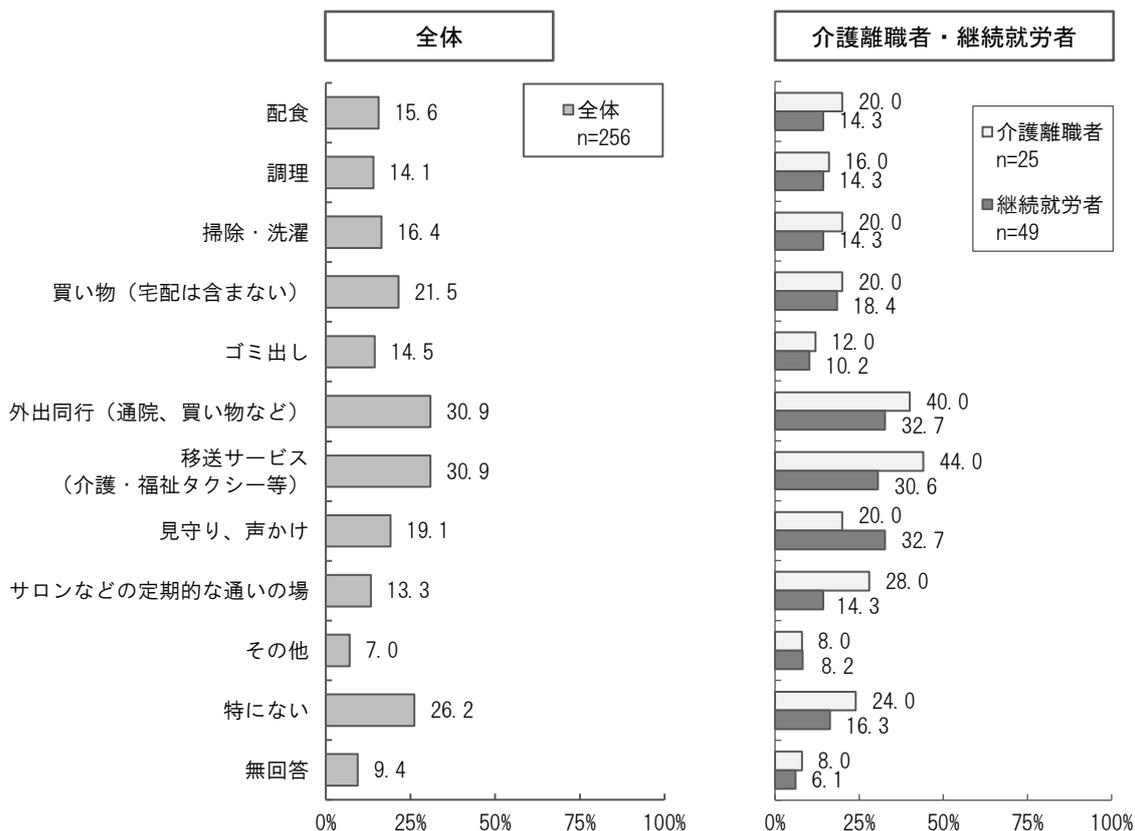


※継続就労者：①問7で「転職した」と回答(「3」「4」を選択)した方、  
 ②「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、問14で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方の計です。

○在宅生活を続けていくために必要な支援・サービスをみると、全体では「外出同行（通院、買い物など）」「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（各30.9%）、「買い物（宅配は含まない）」（21.5%）で高くなっています。

○介護離職者・継続就労者別にみても全体と同様の傾向にあり、「見守り、声かけ」、「その他」を除くサービスで介護離職者の割合が継続就労者を上回っています。

問9 在宅生活を続けていくために必要な支援・サービス

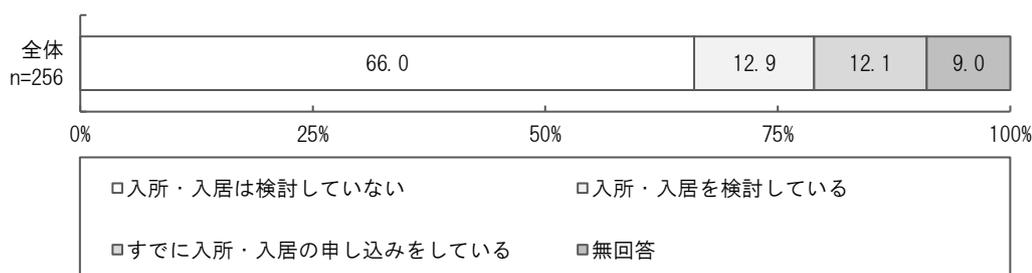


※継続就労者：①問7で「転職した」と回答（「3」「4」を選択）した方、  
 ②「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、問14で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方の計です。

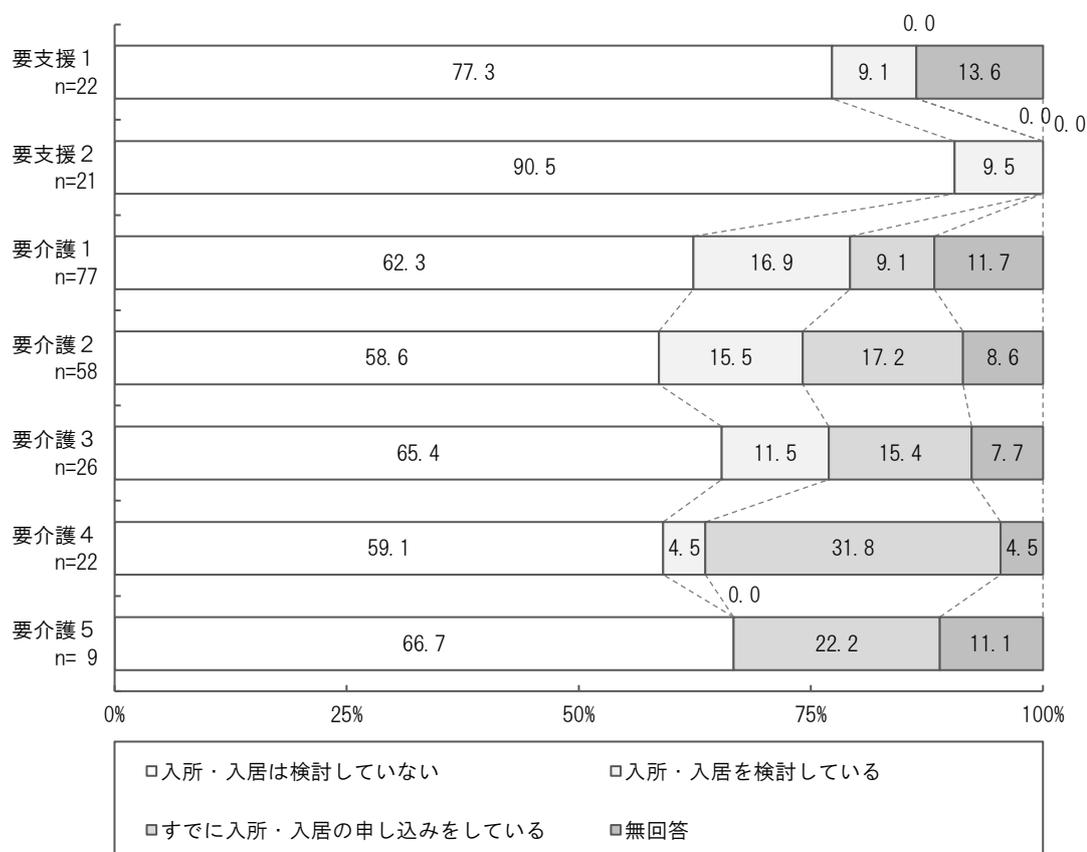
○施設等への入所・入居の検討状況をみると、「入所・入居は検討していない」(66.0%)が最も高く、「入所・入居を検討している」(12.9%)と「すでに入所・入居の申し込みをしている」(12.1%)を合わせた25.0%が入所・入居予定または検討中となっています。

○介護度別にみると、「入所・入居を検討している」と「すでに入所・入居の申し込みをしている」を合わせた入所・入居予定または検討中の方は、要介護4が36.3%で最も高く、次いで要介護2で32.7%、要介護3で26.9%となっています。

問 10 施設等への入所・入居に関する検討



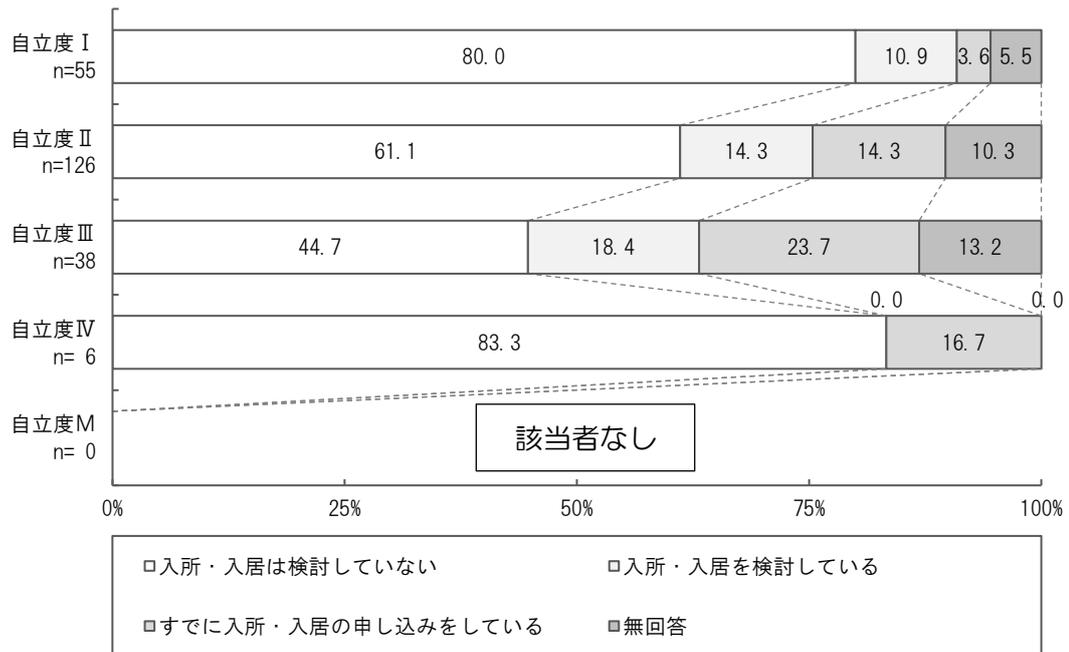
「介護度」 × 「問 10 施設等への入所・入居に関する検討」



○認知症高齢者日常生活自立度別にみると、全ての自立度で「入所・入居は検討していない」が最も高いものの、「入所・入居を検討している」「すでに入所・入居の申し込みをしている」を合わせた入所・入居予定または検討中の方は、自立度Ⅲで42.1%、自立度Ⅱで28.6%、自立度Ⅰで14.5%と自立度が上がるとともに割合が高くなっていきます。

(自立度Ⅳは少数のためコメントを省略)

「認知症高齢者日常生活自立度」 × 「問 10 施設等への入所・入居に関する検討」

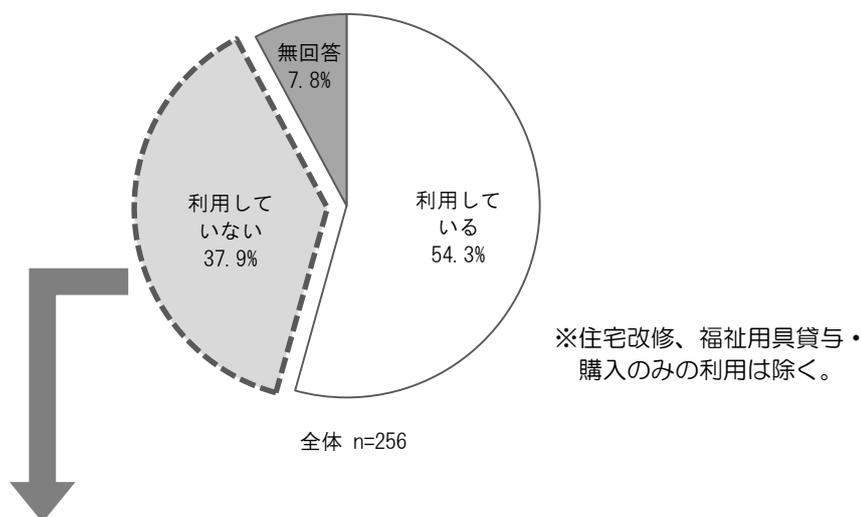


## (2) 介護保険サービスの利用状況

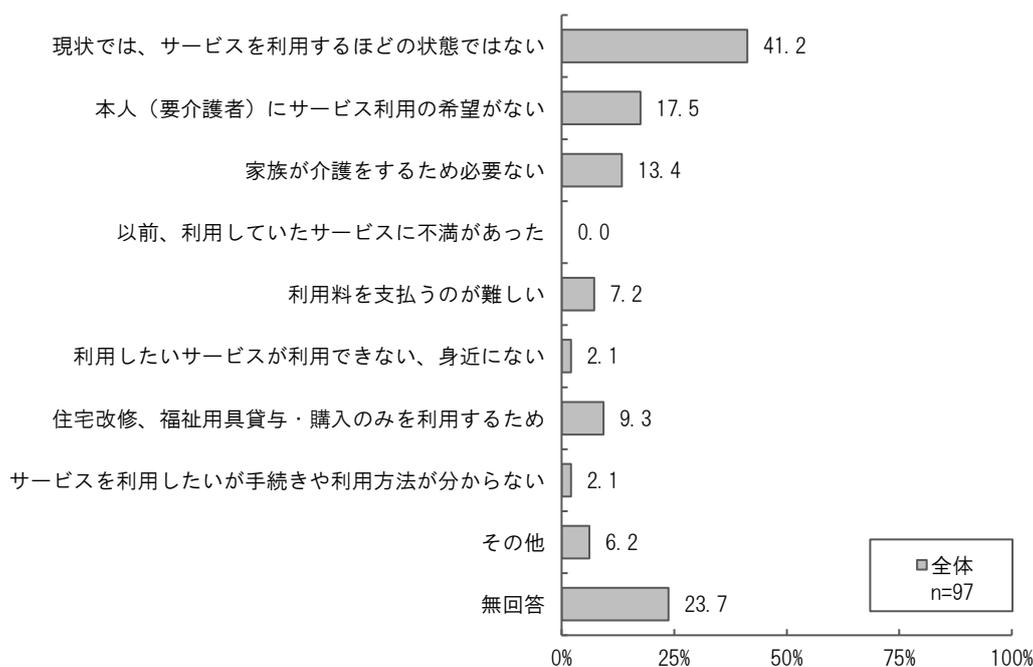
○介護保険サービスの利用状況を見ると、「利用している」が54.3%、「利用していない」が37.9%となっています。

○介護保険サービスを利用していない理由としては「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」(41.2%)が最も高く、次いで「本人(要介護者)にサービス利用の希望がない」(17.5%)、「家族が介護をするため必要ない」(13.4%)となっています。

問 13 介護保険サービスの利用状況

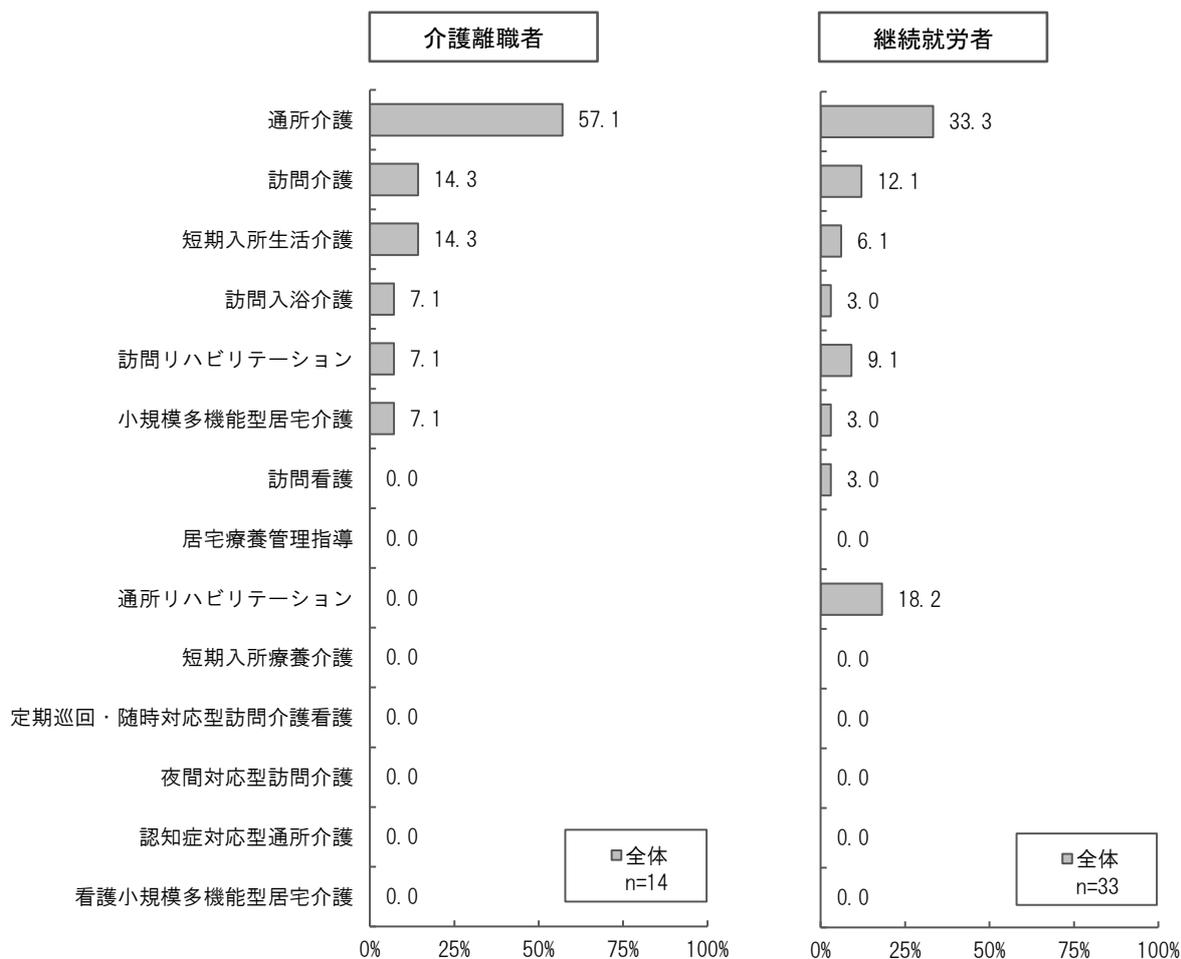


問 13-1 介護保険サービスを利用していない理由



○介護給付サービスの利用状況をみると、介護離職者・継続就労者ともに「通所介護」(57.1%・33.3%)が最も高く、次いで介護離職者では「訪問介護」「短期入所生活介護」(各14.3%)、継続就労者では「通所リハビリテーション」(18.2%)、「訪問介護」(12.1%)が1割を超えていますが、その他のサービスではいずれも1割未満または利用者がいない状況です。

「介護離職者・継続就労者別」×「介護給付サービス利用状況」

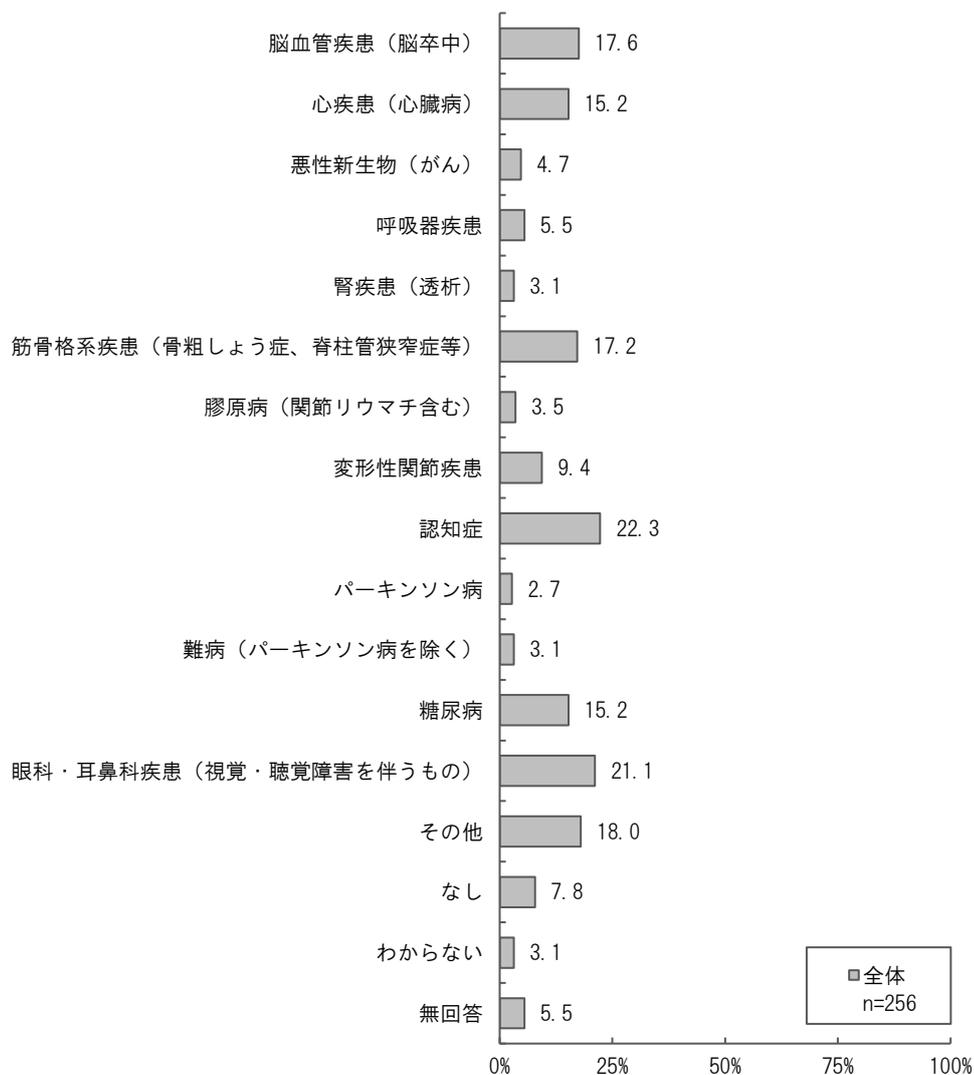


※継続就労者：①問7で「転職した」と回答（「3」「4」を選択）した方、  
 ②「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、問14で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方の計です。

### (3) 罹患している傷病名と訪問診療の利用状況

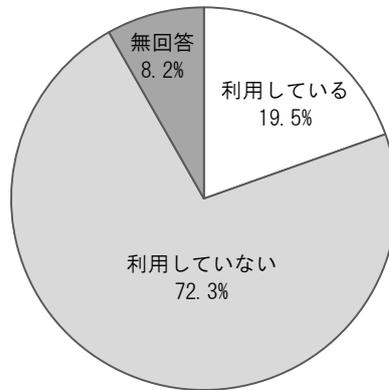
○要介護者が現在抱えている傷病をみると、「認知症」(22.3%)が最も高く、次いで「眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)」(21.1%)、「脳血管疾患(脳卒中)」(17.6%)となっています。

問 11 要介護者が現在抱えている傷病名



○訪問診療の利用状況をみると、「利用している」と回答した方は19.5%となっています。

問 12 訪問診療の利用状況



全体 n=256

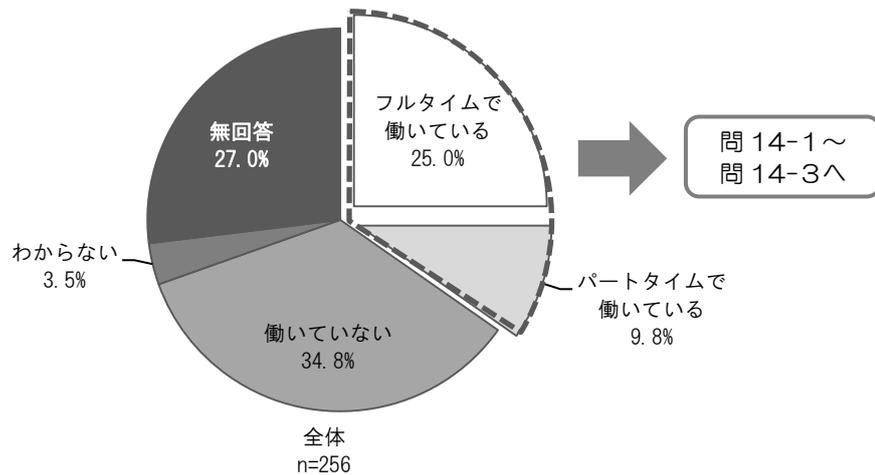
※訪問歯科医療や居宅療養管理指導等は含みません。

## 4 主な介護者の就労状況について

### (1) 主な介護者の勤務形態

○主な介護者の現在の勤務形態は、「フルタイムで働いている」が25.0%、「パートタイムで働いている」が9.8%となり、両者を合わせた34.8%の方が就労しています。

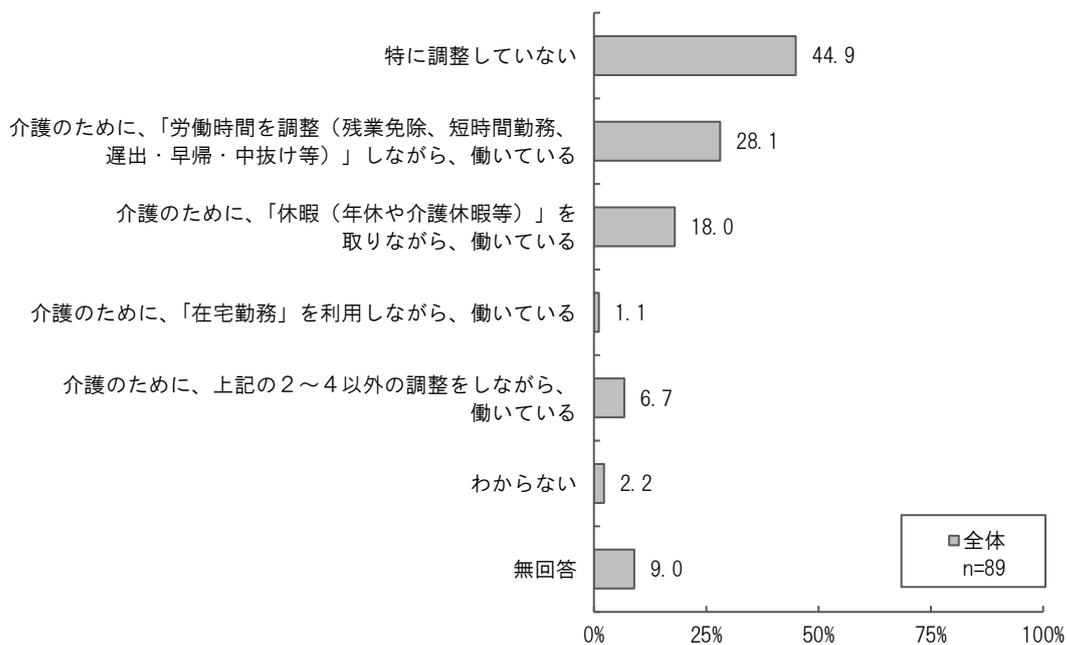
問 14 主な介護者の現在の勤務形態



### (2) 継続就労者（フルタイム・パートタイム）の就労実態と意向

○介護による働き方の調整をみると、「特に調整していない」（44.9%）が最も高く、次いで「介護のために、『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている」（28.1%）となっています。

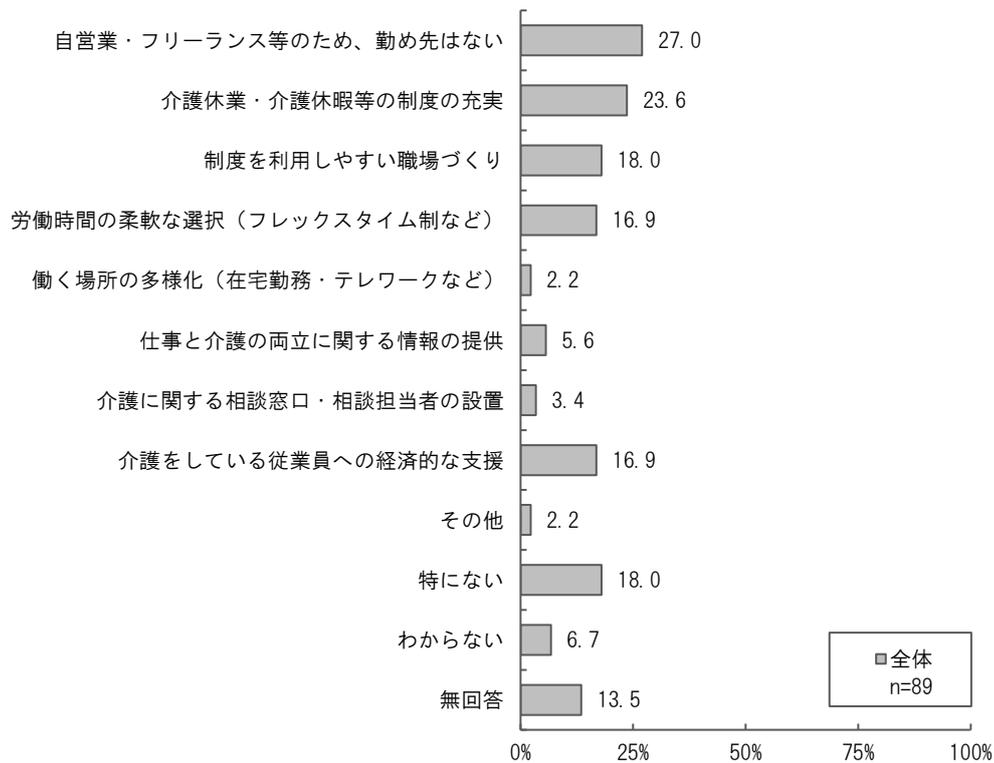
問 14-1 働き方を調整しているか



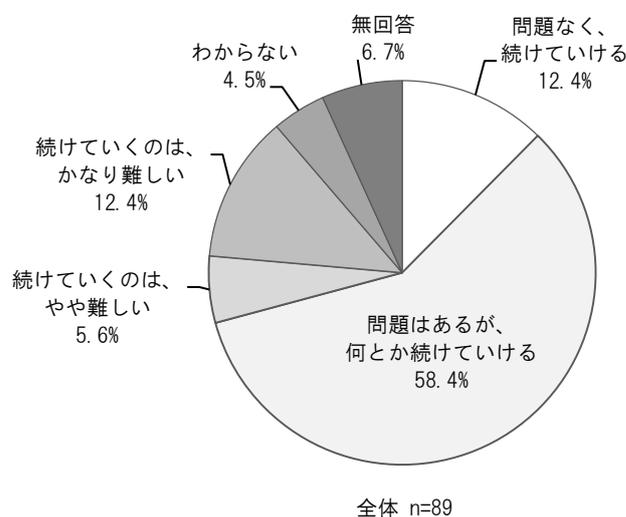
○仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援をみると、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」(23.6%)、「制度を利用しやすい職場づくり」(18.0%)を約2割の方が挙げています。一方、「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」は27.0%となっています。

○今後の仕事と介護の両立については、「問題なく、続けていける」(12.4%)と「問題はあるが、何とか続けていける」(58.4%)を合わせた今後も継続できる方は70.8%、一方、「続けていくのは、やや難しい」(5.6%)と「続けていくのは、かなり難しい」(12.4%)を合わせた継続が困難な方は18.0%となっています。

問 14-2 仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援



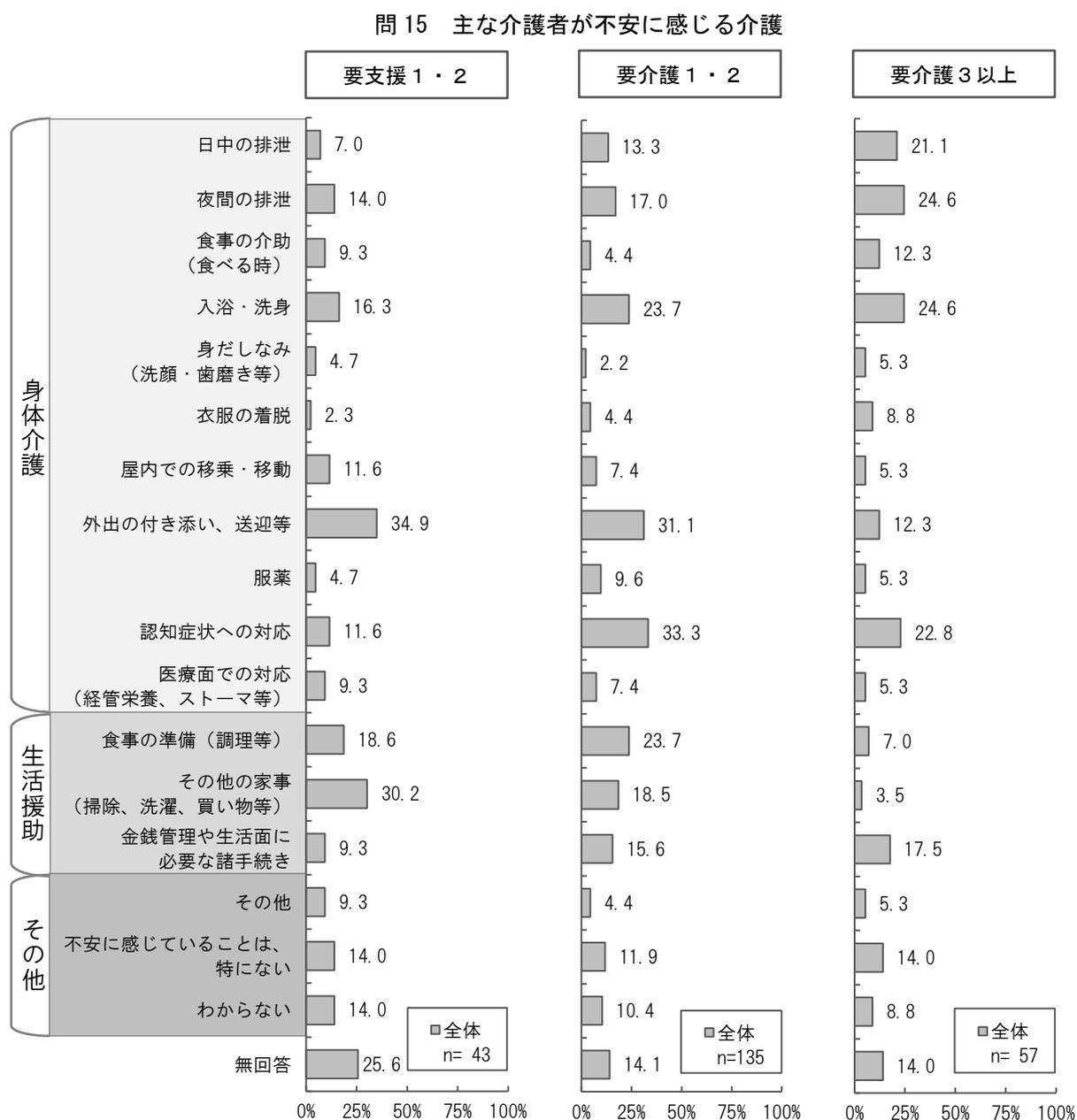
問 14-3 今後の介護と仕事の両立について



## 5 介護生活を続ける際の不安や困りごと

### (1) 主な介護者が不安に感じる介護の内容

- 主な介護者が不安に感じる身体介護をみると、要介護者が要支援1・2では「外出の付き添い、送迎等」(34.9%)、要介護1・2では「認知症状への対応」(33.3%)、要介護3以上では「夜間の排泄」「入浴・洗身」(各24.6%)が最も高くなっています。
- 生活援助では、要介護者が要支援1・2では「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(30.2%)、要介護1・2では「食事の準備(調理等)」(23.7%)、要介護3以上では「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(17.5%)が最も高くなっています。



## 6 介護離職の要因について

主介護者の介護離職に関する要因を調べるために、(1) 主介護者の介護環境、(2) 主介護者の就労環境、(3) 要介護者の様態と介護実態、(4) 介護給付サービス等の利用状況等について介護離職者と継続就労者との差異を比較しました。

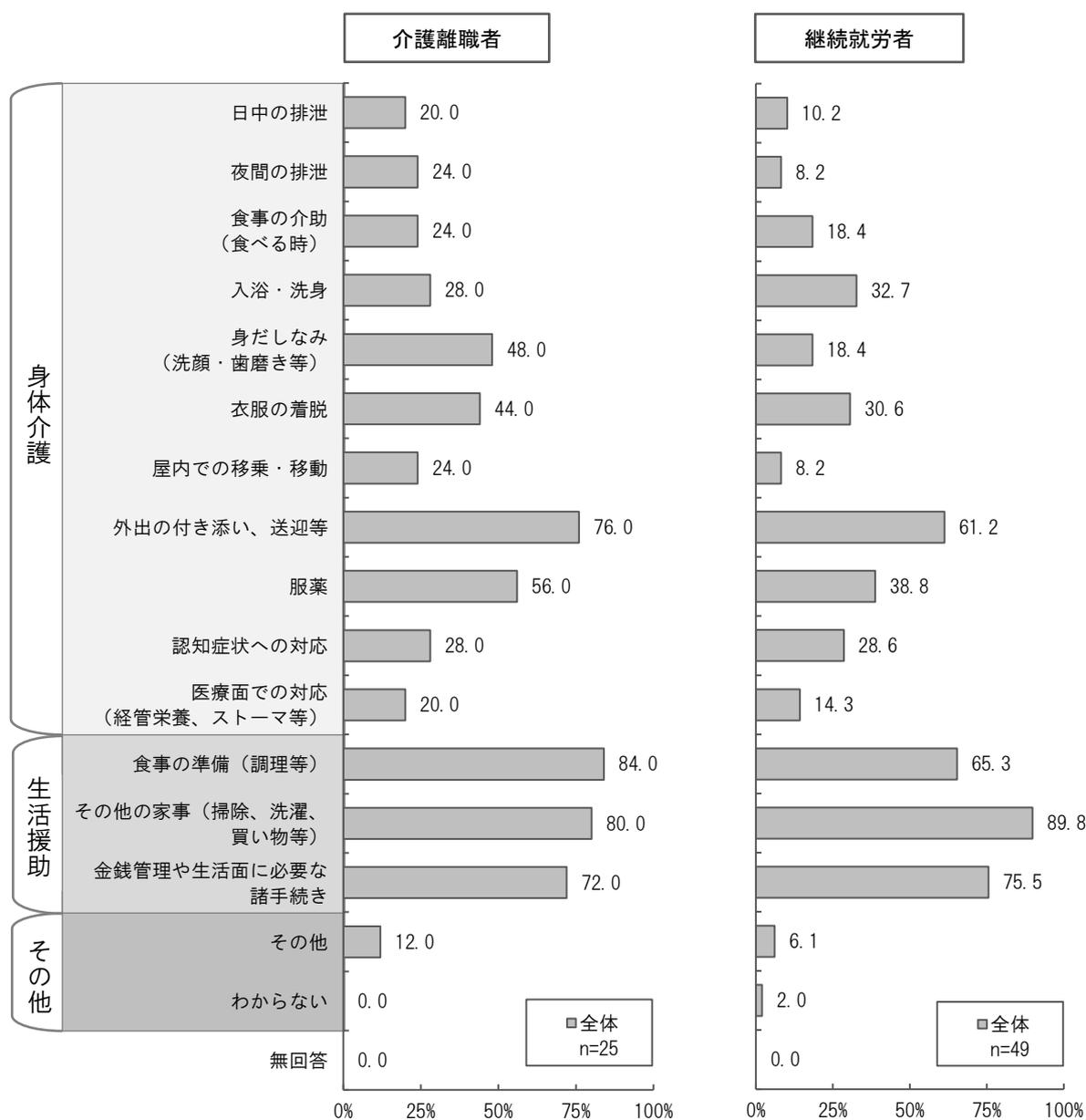
### (1) 主な介護者を取り巻く介護環境等

#### ① 介護者が行っている介護の内容

○身体介護では、介護離職者・継続就労者ともに「外出の付き添い、送迎等」(76.0%・61.2%) が最も高く、次いで「服薬」(56.0%・38.8%) となり、いずれも介護離職者の割合が継続就労者を上回っています。

○生活援助では、介護離職者・継続就労者ともに「食事の準備(調理等)」(84.0%・65.3%)、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(80.0%・89.8%)、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(72.0%・75.5%) となり、全ての項目で高い割合となっています。

「介護離職者・継続就労者別」×「問6 主な介護者の方が行っている介護」



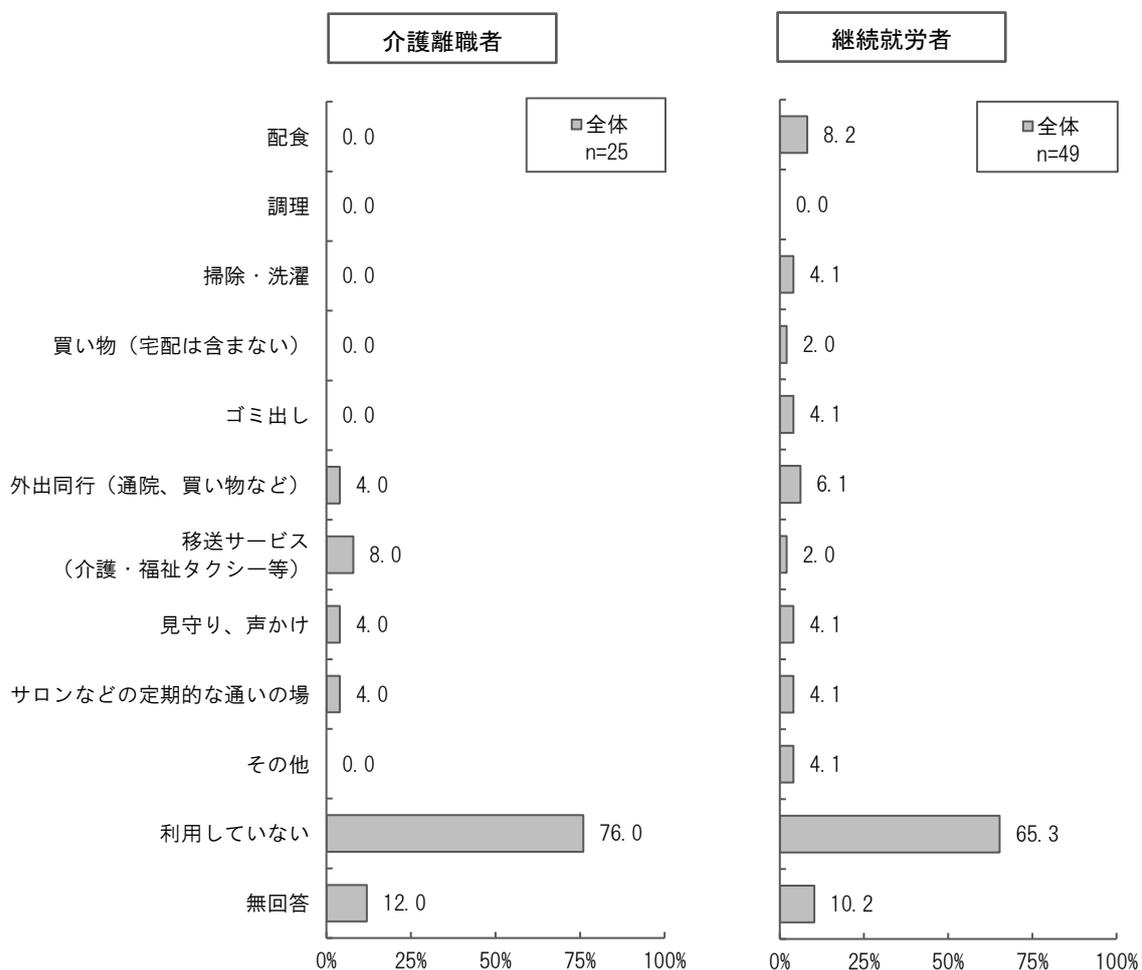
※継続就労者：①問7で「転職した」と回答（「3」「4」を選択）した方、  
 ②「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、問14で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方の計です。

② 要介護者が利用している介護給付サービス以外の支援・サービス

○介護給付サービス以外の支援・サービスの利用状況をみると、介護離職者では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（8.0%）、「外出同行（通院、買い物など）」「見守り、声かけ」「サロンなどの定期的な通いの場」（各4.0%）でわずかに利用があり、継続就労者では「配食」（8.2%）、「外出同行（通院、買い物など）」（6.1%）など、両者ともに利用は少ない状況です。

また、「利用していない」と回答した方は、介護離職者・継続就労者（76.0%・65.3%）となり、前者が後者を上回っています。

「介護離職者・継続就労者別」  
×  
「問8 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況」（再掲）

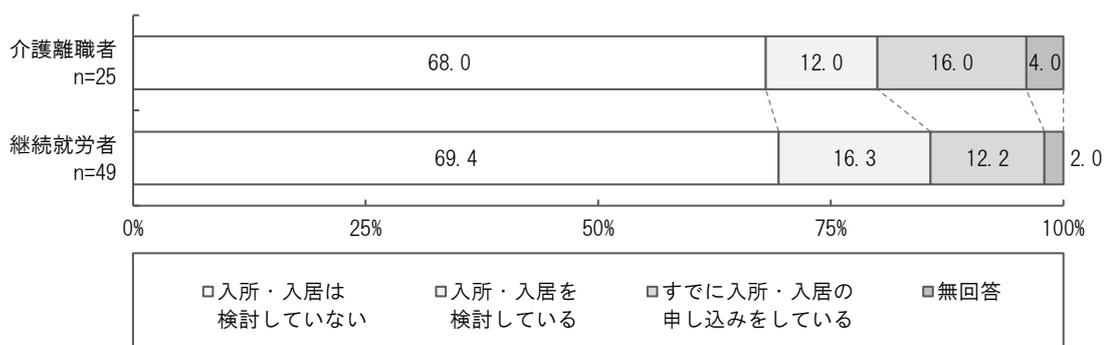


※継続就労者：①問7で「転職した」と回答（「3」「4」を選択）した方、  
②「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、問14で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方の計です。

### ③ 施設等への入所・入居の検討

○施設等への入所・入居の検討状況について、介護離職者・継続就労者ともに「入所・入居は検討していない」（68.0%・69.4%）が最も高く、「入所・入居を検討している」と「すでに入所・入居の申し込みをしている」を合わせた入所・入居予定または検討中の方は、介護離職者で28.0%、継続就労者で28.5%となっています。

「介護離職者・継続就労者別」×「問10 施設等への入所・入居に関する検討」



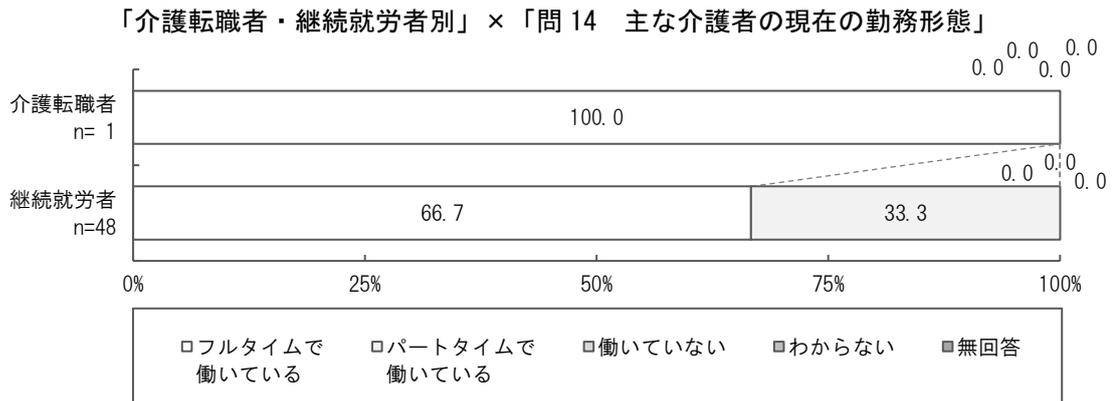
※継続就労者：①問7で「転職した」と回答（「3」「4」を選択）した方、②「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、問14で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方の計です。

## (2) 就業中の主な介護者に関する就労環境

ここでは、就労している主な介護者を介護のために転職をした介護転職者と継続就労者に分け、比較しています。

### ① 現在の勤務形態

○現在の勤務形態をみると、継続就労者では「フルタイムで働いている」が66.7%、「パートタイムで働いている」が33.3%となっています。

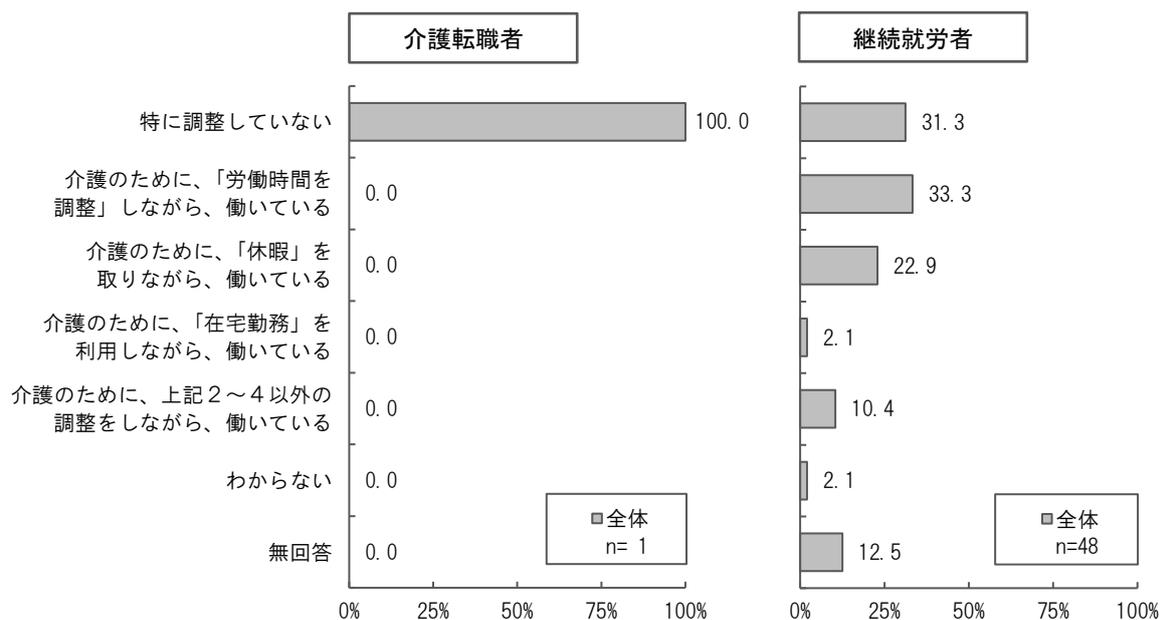


※継続就労者：問7で「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、問14で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方です。

② 介護のために働き方の調整等

○働き方の調整状況をみると、継続就労者では「特に調整していない」（31.3%）は約3割で、「介護のために、『労働時間を調整』しながら、働いている」（33.3%）、「介護のために、『休暇』を取りながら、働いている」（22.9%）、「介護のために『在宅勤務』を利用しながら、働いている」（2.1%）、「介護のために、上記2～4以外の調整をしながら、働いている」（10.4%）となり、約7割は何らかの調整を組み合わせながら働いていることがうかがえます。

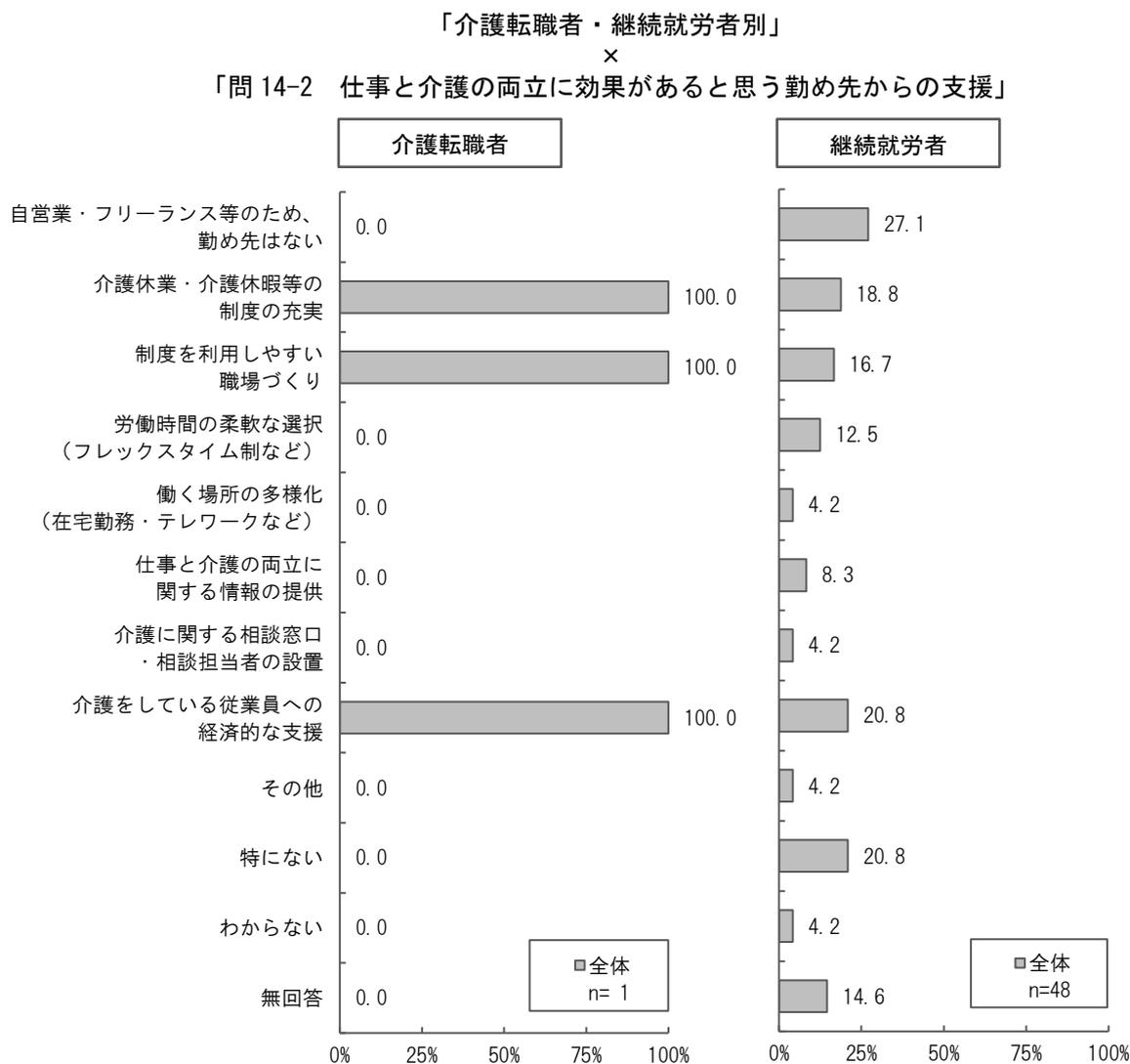
「介護転職者・継続就労者別」×「問14-1 働き方を調整しているか」



※継続就労者：問7で「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、問14で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方です。

③ 仕事と介護の両立に効果的な職場の支援内容

○仕事と介護の両立に効果的な職場の支援をみると、継続就労者では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」(18.8%)、「制度を利用しやすい職場づくり」(16.7%)、「介護をしている従業員への経済的な支援」(20.8%)を2割前後の方が挙げています。一方、「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」と回答した方は27.1%となっています。

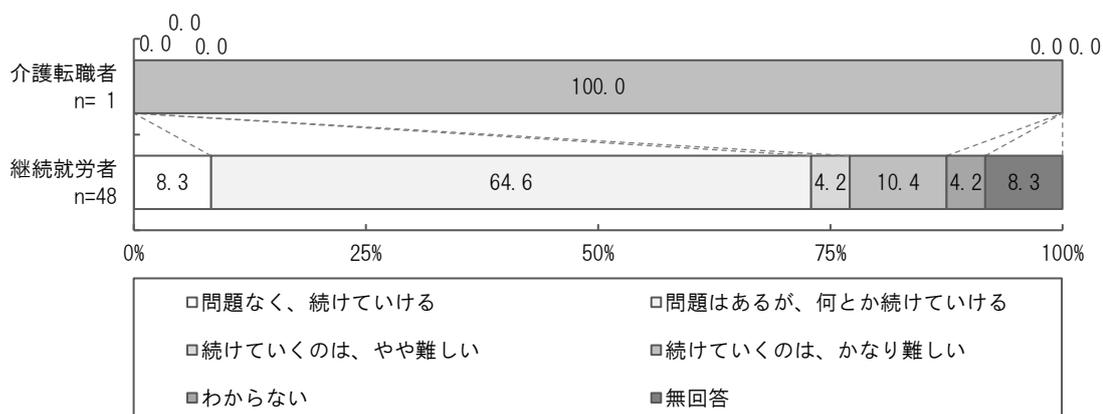


※継続就労者：問7で「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、問14で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方です。

④ 仕事と介護の両立に関して継続する意向

○継続就労者では「問題なく、続けていける」(8.3%)と「問題はあるが、何とか続けている」(64.6%)を合わせた今後も継続できる方は72.9%、「続けていくのは、やや難しい」(4.2%)と「続けていくのは、かなり難しい」(10.4%)を合わせた継続が困難な方は14.6%となっています。

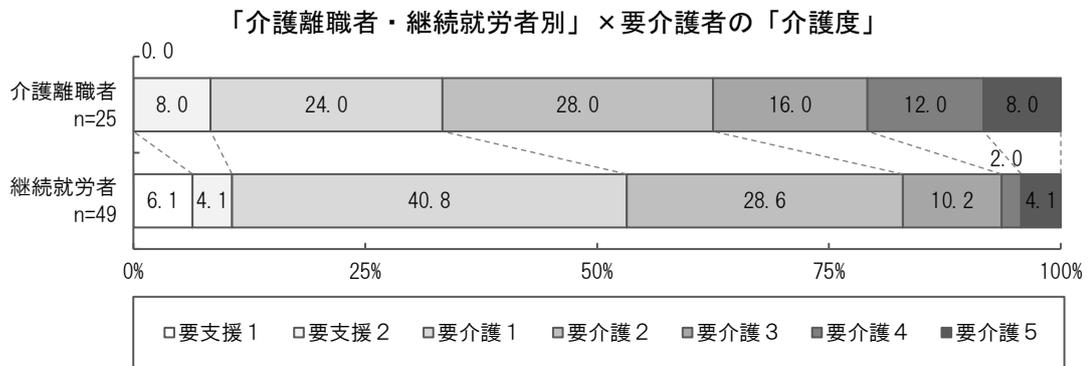
「介護転職者・継続就労者別」×「問 14-3 今後の介護と仕事の両立について」



※継続就労者：問7で「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、問14で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方です。

### (3) 要介護者の様態と介護実態

○要介護者の介護度をみると、介護離職者では「要介護2」(28.0%)が最も高く、次いで「要介護1」(24.0%)、「要介護3」(16.0%)となっています。一方、継続就労者では「要介護1」(40.8%)、「要介護2」(28.6%)、「要介護3」(10.2%)となっています。



※継続就労者：①問7で「転職した」と回答（「3」「4」を選択）した方、②「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、問14で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方の計です。

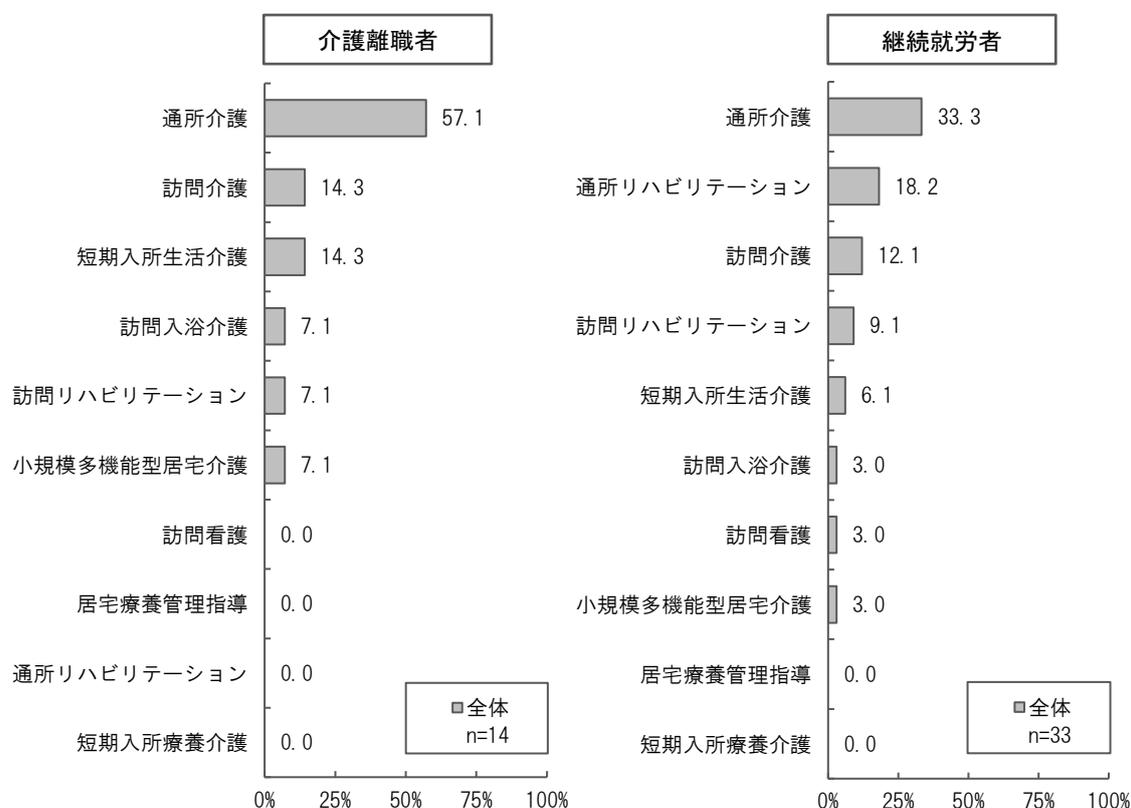
## (4) 介護給付サービス等の利用状況

### ① 介護給付サービスの利用状況

○介護離職者の介護給付サービス利用状況をみると、「通所介護」(57.1%)、「訪問介護」「短期入所生活介護」(各14.3%)、「訪問入浴介護」「訪問リハビリテーション」「小規模多機能型居宅介護」(各7.1%)で利用があり、他のサービスは利用がない状況です。

○一方、継続就労者では「通所介護」(33.3%)、「通所リハビリテーション」(18.2%)、「訪問介護」(12.1%)で高いものの、「訪問リハビリテーション」(9.1%)、「短期入所生活介護」(6.1%)、「訪問入浴介護」「訪問看護」「小規模多機能型居宅介護」(各3.0%)では1割未満となっています。

「介護離職者・継続就労者別」×「介護給付サービス利用状況（上位10位）」

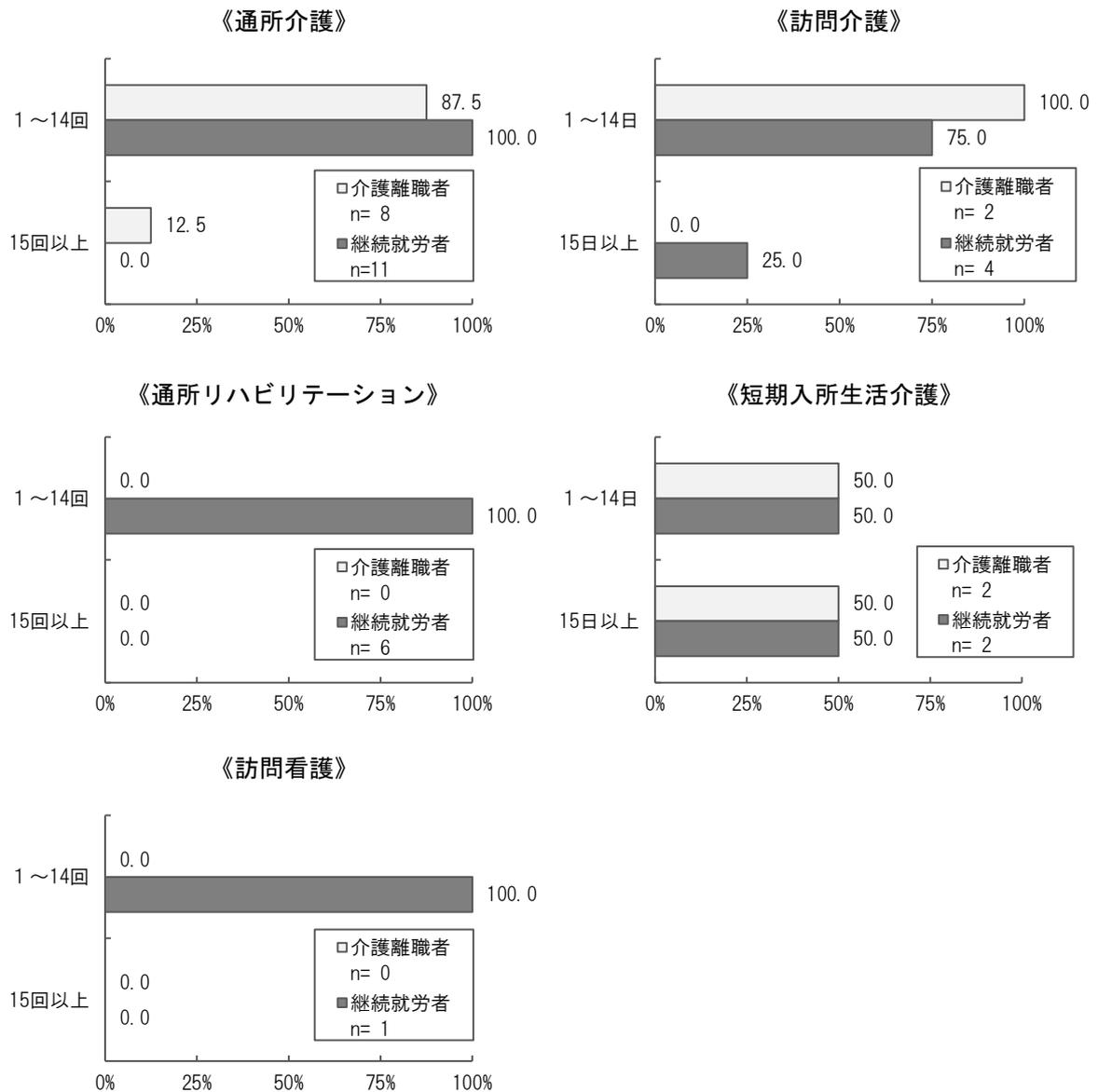


※継続就労者：①問7で「転職した」と回答（「3」「4」を選択）した方、②「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、問14で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方の計です。

② 介護給付サービス別の実日数（利用割合の高いサービスのみ）

○利用割合上位5位のサービスの利用実回数・実日数については、対象者が少ないため参考値とします。

「介護離職者・継続就労者別」×要介護者の「介護給付サービス利用日数」（利用割合上位5位）



※継続就労者：①問7で「転職した」と回答（「3」「4」を選択）した方、②「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、問14で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方の計です。